

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月6日

上場会社名 曾田香料株式会社  
 コード番号 4965 URL <http://www.soda.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中地 俊朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 中島 直文  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 JQ

TEL 03-5645-7340

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,062	—	738	—	743	—	446	—
20年3月期第1四半期	4,616	△7.8	584	12.6	600	13.3	377	6.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	44.66	—
20年3月期第1四半期	37.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	18,358	10,951	59.7	1,095.41
20年3月期	18,153	10,642	58.6	1,064.49

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 10,951百万円 20年3月期 10,642百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	9,900	—	1,200	—	1,200	—	740	—	74.02
通期	20,200	8.0	2,500	4.5	2,510	3.7	1,550	3.5	155.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 10,000,000株 20年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,710株 20年3月期 2,710株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 9,997,290株 20年3月期第1四半期 9,997,290株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月9日発表の業績予想は修正していません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰を背景に物価が上昇基調を強めており、個人消費の伸び悩みが見られるなど、景気の減速感が強まるなか、先行きに対する不透明感が一層増してきております。

香料業界におきましても、国内市場の売上は伸び悩んでおり、販売競争が激化するなかで原燃料価格の上昇も加わり、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループはフレグランス、フレーバー、合成香料・ケミカルの3事業部門ごとに持続的な収益拡大に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化し、自社製品の売上高増加に注力いたしました。そして、生産性の向上や総費用の見直しなどの各種施策にも積極的に取り組み、事業収益の向上と経営の効率化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高のうち自社製品につきましては、フレグランス、フレーバーが好調に推移し、合成香料・ケミカルも大幅に拡大したことから、前年同期比13.0%増加して4,001百万円となりました。仕入れ商品も含めた全体の売上高は、5,062百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

利益につきましては、自社製品の拡販を積極的に進めたことや、原燃料価格が上昇する中で製造原価低減、経費の抑制に努めたことから収益性が向上し、営業利益は738百万円(同26.3%増)、経常利益は743百万円(同23.9%増)、四半期純利益も446百万円(同18.2%増)となりました。

部門別売上高につきましては、フレグランス部門は、主力のシャンプー・リンス等の頭髪用化粧品香料は安定的に推移し、消臭・芳香剤用香料も伸長したことから、全体では507百万円(同8.8%増)となりました。フレーバー部門は、コーヒー、健康飲料等の飲料用香料が拡大し、自社製品売上は1,454百万円(同7.4%増)となりました。一方で仕入れ商品が減少したことから、全体では2,054百万円(同0.5%増)となりました。合成香料・ケミカル部門のうち合成香料は海外向けを中心に続伸し、ケミカル製品も電子材料が拡大したことから、部門全体の売上高は2,500百万円(同18.8%増)となりました。

(注記) 当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産残高は18,358百万円となり、前連結会計年度末と比較して204百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の増加450百万円、たな卸資産の増加246百万円、現金及び預金の減少379百万円などによるものです。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の残高は7,407百万円となり、前連結会計年度末と比較して104百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加459百万円及び短期借入金金の減少500百万円によるものです。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は10,951百万円となり、前連結会計年度末と比較して309百万円増加しました。これは主に、配当金の支払い99百万円と四半期純利益の計上446百万円の結果利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の58.6%から59.7%に上昇いたしました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ379百万円減少し、2,570百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは220百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は417百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が741百万円、減価償却費が158百万円となり、また売上高の増加により売上債権が450百万円の増加、仕入債務が459百万円の増加となったこと及び法人税等の支払額が586百万円となったことなどによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は197百万円となりました。これは主に、ケミカル製造設備等の有形固定資産の取得による支出183百万円によるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は599百万円となりました。これは、短期借入金の返済500百万円と配当金の支払い99百万円によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の今後の見通しにつきましては、当第1四半期連結会計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、現段階では平成20年5月9日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①簡便な会計処理

##### ・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

##### ・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ11,328千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,570,660	2,949,677
受取手形及び売掛金	4,143,420	3,692,891
商品	44,814	47,383
製品	1,556,905	1,622,777
原材料	1,195,545	1,147,773
仕掛品	1,924,138	1,654,274
その他	408,049	450,215
貸倒引当金	△6,141	△5,560
流動資産合計	11,837,392	11,559,433
固定資産		
有形固定資産	4,816,092	4,865,977
無形固定資産	43,501	38,756
投資その他の資産	1,661,384	1,689,573
固定資産合計	6,520,978	6,594,308
資産合計	18,358,370	18,153,741
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,522,673	2,063,632
短期借入金	1,000,000	1,500,000
未払法人税等	299,359	611,700
賞与引当金	667,678	453,892
役員賞与引当金	3,800	14,216
その他	840,653	814,602
流動負債合計	5,334,165	5,458,043
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付引当金	1,837,132	1,830,197
役員退職慰労引当金	129,500	122,030
その他	6,448	1,448
固定負債合計	2,073,081	2,053,676
負債合計	7,407,246	7,511,720

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	7,898,227	7,551,700
自己株式	△1,523	△1,523
株主資本合計	10,843,558	10,497,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	156,537	155,224
繰延ヘッジ損益	1,725	29,975
為替換算調整勘定	△50,698	△40,210
評価・換算差額等合計	107,565	144,989
純資産合計	10,951,123	10,642,021
負債純資産合計	18,358,370	18,153,741

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	5,062,997
売上原価	3,347,093
売上総利益	1,715,904
販売費及び一般管理費	977,621
営業利益	738,282
営業外収益	
受取利息	2,775
受取配当金	5,824
持分法による投資利益	1,901
その他	2,732
営業外収益合計	13,233
営業外費用	
支払利息	3,768
債権売却損	2,568
その他	1,552
営業外費用合計	7,889
経常利益	743,626
特別損失	
固定資産除却損	1,908
特別損失合計	1,908
税金等調整前四半期純利益	741,718
法人税等	295,219
四半期純利益	446,499

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	741,718
減価償却費	158,330
固定資産除却損	887
持分法による投資損益(△は益)	△1,901
貸倒引当金の増減額(△は減少)	581
賞与引当金の増減額(△は減少)	213,786
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,415
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,404
受取利息及び受取配当金	△8,599
支払利息	3,768
売上債権の増減額(△は増加)	△450,528
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246,558
仕入債務の増減額(△は減少)	459,041
その他	108,871
小計	983,386
利息及び配当金の受取額	24,066
利息の支払額	△3,768
法人税等の支払額	△586,109
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△2,465
有形固定資産の取得による支出	△183,141
無形固定資産の取得による支出	△12,374
その他	903
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000
配当金の支払額	△99,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△599,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	466
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△379,016
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,570,660

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	580,498	543,147	190,689	61,339	1,375,674
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	5,062,997
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	11.5	10.7	3.8	1.2	27.2

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:千円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	4,616,526
II 売上原価	3,089,037
売上総利益	1,527,489
III 販売費及び一般管理費	943,135
営業利益	584,353
IV 営業外収益	23,706
V 営業外費用	7,914
経常利益	600,145
VI 特別利益	—
VII 特別損失	721
税金等調整前四半期純利益	599,423
法人税等	221,786
四半期純利益	377,636